



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2017年1月 - 3月号

Vol.37

近況のご報告

支援者の皆様、いつも温かいお祈りとお支援をありがとうございます。

前回のニューズレターでは、活動再会から、「体力のなさという制約」と折り合いをつけながらの1年間だった、ということを書かせていただきました。じっさい、11月、12月には体調を崩し、1週間ほど動けず家でじっとしたこともありました。そのたびに「病気の再発か」と怖くなり、鬱のときの感覚が戻ってくる恐怖におびえました。

その後の体調についてのご報告をさせていただきますと、年が明けて以来この3ヶ月、体調が上向いてきています。体力も、発病前の水準を「10」としたら、「7から9」程度までに回復してきていると感じます（昨年1年間は「3から4」という実感でした）。「食べるというエネルギー」さえも低下したため療養中は58キロ台まで落ちた体重も、発病前の65キロ台にまで回復しました。ここまで立ち直らせてくださったのは神様ですが、それは皆様が祈ってくださったおかげです。心から感謝しています。

また、一部の方々には個人的にお知らせしてきたことでもありますが、3月8日に引っ越しました。2009年から約8年暮らした練馬区光が丘は居住環境としてとても良い場所でしたが、住んでいた家は2年間の療養期間のつらい思い出が染みついた部屋でもありました。体力の回復を待ち、カウンセラーにも相談しつつ、思い切って「心機一転」のため、7キロ離れた西東京市の家に引っ越しました。



新居の「書斎」にて 2017年3月

家の広さはこれまでと変わらず、都心から離れた分、家賃は少し安くなりました。また、「1LDK」から「2DK」という間取りの変化によって、これまで持てなかった「書斎」を持つことが出来、うれしさのあまり浮かれています（笑）。

4.5畳とはいえ、自分の「城」というか、自分だけのスペースを持てるというのはやはり嬉しく、インターネットで購入した広い机でする作業は、気のせいか「知的創造性の射程範囲」まで広げてくれるような気がしています（たぶん本当に気のせいですが笑）。

以下が、新住所になります。掲示板で供覧していただいても結構ですが、個人情報でもありますので、インターネット等に掲載することはお控えください。(ウェブでプレーヤーリーダーを読んでくださっている方は、ウェブ用 PDF 版では掲載は差し控えますので、お手数ですが直接おたずねください。)

■新住所 〒××× 東京都××××

「メールマガジン」を始めました。(是非ご登録を！)

2月21日から、「メルマガ」を開始しました。

タイトルは「陣内俊の読むラジオ」と言います。FVIは昨年「FVIメディアルーム」というものを立ち上げ、そこで動画、テキスト文書、音声情報などさまざまな形態の「情報発信」をしています。そのなかの一企画としてこれまで温めてきた「メルマガ」をこのたび開始したのは、理由があります。

現代は「生きることが困難な時代」であり、低い出生率が指し示すように、特に若い世代にとって今の世の中は「先の見えない不透明な世界」であるのは論を待ちません。また忙しさは日に日に増し加わり、立ち止まって「不透明な世界における見通し」を得るための情報のインプットをする暇すらない。

このメルマガはそのような忙しい現代人を読者と想定して、たとえば通勤電車の中で、あるいはトイレの中で、または眠りにつく前にベッドの中で、5分、10分という細切れの時間にスマホやタブレットで、「ラジオを聞き流すように」読んでいただく「読むサプリ」として講読していただきたいと思い執筆しています(文字数が多いのでガラケーでは厳しいかもしれませんが、PCでももちろんお読みいただけます)。

登録すると毎週火曜日が楽しみになり、また半年読み続けると、先の見えないこの世界に対して、ある一定の「視座」または「世界観」を獲得することが出来るようなメルマガを目指しています。支援者の皆様には是非、ご登録いただきお読みいただけましたら嬉しく思います。

無料のご登録は、ブラウザで「陣内俊の読むラジオ」と検索ください。

「大切なことは向こうから来る」

病気になってから私の「人生観が変わった」と思うことがいくつかありますが、そのひとつに、「あまり先々の計画を立てなくなり、ビジョンや目標ということに対する関心が薄くなった」ということがあります。計画やビジョンや目標の価値を認められなくなったわけではありません。それらには価値があり、たいせつなことです。が、「自分が思い描いた計画」というものが、いとも簡単に吹き飛ばすようなことが人生には起こるのだ、ということ、私は病気によって心底、味わいました。そして「歓迎されざる客」のようにして私の人生を「蹂躪」したかと思った病気こそ、じつは私にとって神からの啓示そのものだった、という経験は、ものごとに対する私の見方を深い部分で変えました。

「大切なことは向こうから来る」という言葉が、去年一年間、私の心の中で通奏低音のように響いていました。

本当に大切なことは、病気がそうであったように、「向こうから」来るのだと。だから今は焦って自分から働きかけなくても大丈夫、という平安が心を支配していました。

2月20日に、私のブログのメールフォームから「陣内さんに会いたい」という一通のメールがありました。「FVIメディアルーム」動画を見て、昨年末から「聞き屋ボランティア」を東京の荻窪で定期的に行っている、という若い夫婦からでした。向こうからやって来たこの機会は「何か大切なこと」のような気がしましたので、私は彼らと会うことにしました。それは素晴らしい出会いで、私は今、また聞き屋を何らかの形で再開するよにとの促しを感じています。このように今年一年もさまざまな「大切なこと」が向こうからやってくるという、確信めいた期待を持ちつつ、日々を歩んでいます。



【活動予定】 フィリピンへ行きます

5月8～16日の予定で、フィリピンのバギオに行きます。

数年前からフィリピンにいる日本人の知人を通して FVI は、Council for the Restoration of Filipino Values (CRFV) というフィリピンの NGO との出会いに導かれました。彼らは共同生活を営むことを通してイエスの弟子を養成することを目指しており、農業や、地元子ども達への学習塾の経営によって収入を得ながら、フィリピンという「国が弟子となる」ことを疎外している最大の問題のひとつである「不正と汚職」の問題に立ち向かうというユニークな働きをしており、法律の専門家らが働きの中核を担っています。

人口約 31 万人のバギオは首都マニラから 250 キロほど北に位置する標高 1500 メートルの「避暑地」であり、3月から5月の期間、政府の大統領府などがマニラから移転する「サマーキャピタル」です。政治に影響を及ぼしつつ、喧噪から離れて生き方の修養が出来るという地理的な利点があります。

これもまた「向こうから来た大切なこと」と感じており、どのような出会いになるか楽しみです。

良き出会いと学び、働きの出会がありますよう、お祈りいただければ幸いです。



祈りの課題

- ◇焦って無理を重ねて体調を崩すことのないように。「慎ましく働き、大胆に休む」を実践出来るように。
- ◇遣わされた場所、任された領域において、「御国の貢献」をしていくことが出来るように。
- ◇フィリピン、愛知、長野、清瀬、立川など、多くの場所に行く機会を与えられていますので、行く先々で良い出会いがあるように、また、主が私を用いてくださるようにお祈りください。
- ◇新たな試みである「メルマガ」が、現代における預言的な働きとして、また忙しい人々の清涼剤として、人々を励ますために用いられていくように。

4～6月のスケジュール

月 日	内 容	場所、補足
4月4日	「愛の筋トレ」コーチング	戸田福音自由教会（戸田市）
4月30日	礼拝メッセージの奉仕	清瀬グレースチャペル（清瀬市）
5月8～16日	CRFV訪問と視察	バギオ（フィリピン）
5月19～28日	愛知県訪問とデピュテーション	蒲郡市、豊橋市、豊川市
5月29日～6月1日	FVI執行役員会（Captain's Table）	万座温泉ホテル（群馬県）
6月11日	礼拝メッセージの奉仕	立川福音自由教会（立川市）
6月25日	礼拝メッセージの奉仕	伊那福音教会（長野県伊那市）
随時継続的に	FVIの各種活動	国内各地

連絡先

〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町伊賀久保 100-2 国際クリスチャンバプテスト教会内 「陣内俊を支える会」
久米川 090-5607-7389
陣内への Email shun@karashi.net ブログ URL : <http://ameblo.jp/shunjinnai-kingdomcome/>

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
(同封の振込用紙がご利用いただけます。)

- *振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- *振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封させていただきますが、**振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。**お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- *Prayer Letterの購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。